

とうほく せんげん 東北 J C 宣言

われわれは

あら かし そうぞう きしゆ
新たな価値を創造する旗手として
とうと ゆい せいしん よ さ
尊い「結」の精神を呼び覚まし
みらい き ひら ちか
かつてない未来を切り拓くことを誓う

【東北 J C 宣言】

東北各地の青年会議所は、地域における様々な問題を解決し、明るい豊かな社会の実現に向けた運動を展開しております。また、青年会議所運動は、地域を想い、地域の実情に目を向けながら活動する青年会議所のそれぞれが抱く熱意を共有し、連帯感から生まれるスケールメリットを発揮することで、計り知れない可能性を有しているのです。

「東北 J C」とは、「東北は一つ」という想いを共有する東北地区内全ての青年会議所を指します。同じ志を持ち行動する東北 J C が、地域に暮らす人々と共に、相互の信頼と尊敬から生まれる「結」の精神を育みながら力強い歩みを進めるため、ここに「東北 J C 宣言」を定めます。

【われわれは】

東北地区内すべての会員会議所会員を指します。

【新たな価値を創造する旗手として】

戦後日本は、先人たちの努力により高度経済成長期を経て世界トップクラスの経済大国へと成長を遂げました。しかし、社会を取り巻く環境の変化に伴い、より良い地域づくりへの取り組みに求められる価値観も変わります。そこで、われわれは、新たな価値を創造するために、地域文化を維持発展させ地域にさらなる活力を与えるとともに、人々の繋が

りや公の利益に寄与する公共心の大切さを共感し、人々の心を高揚させる社会を築かなければなりません。

旗手とは地域住民を力強く牽引する先導者です。東北の J A Y C E E が地域のリーダーである使命感を抱くことが大切であり、次代を築き上げる責任世代としての気概を強く持ち行動することを忘れてはなりません。

【尊い「結」の精神を呼び覚まし】

人は誰しも相手を思いやり助け合う「結」の精神を心の奥に持っており、それはきわめて尊いものです。特に東北地方は古くから「結借り」「結貸し」という労働力や食物を貸し借りし、互いに協力し合いながら暮らしてきたことから、生きるための「結」の精神が育まれ、東北に暮らす人々のアイデンティティとして秘めています。また、震災によって被災した人々の行動により、東北には人と地域が助け合う相互扶助の精神が確かに根付いていることを改めて強く認識しました。J A Y C E E の活動により、「結」の精神の大切さをより広く伝播することが求められます。

【かつてない未来を切り拓くことを誓う】

思いやりに満ち溢れ、公の利益に寄与する公共心を最上の価値として捉える人々が各地で多くなるに従い、歴史が経験したことのない未来の展望が開けていきます。未来は誰も経験したことはありません。しかし、やがて来る未来を待つのではなく、今を変えることで未来を目指すべき方向へ変えることは出来ます。最も大切なことは目指すべき未来の実現のために、一人ひとりが出来ることを行っていくことです。

一人ひとりに出来ることは溢れています。この時代に生きる意味と意義をそれぞれがしっかりと認識し、今をどう生き抜かなければならないかを真剣に考え、責任世代としての役割を果たすことを誓い合うことで、東北各地の青年会議所運動がより力強く推進されるのです。